Fandaline
Fukuvi Public Furniture

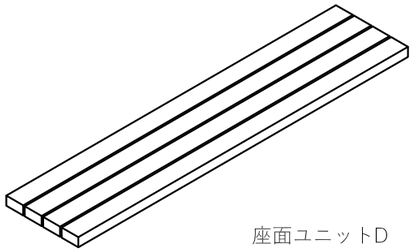
メランダベンチ

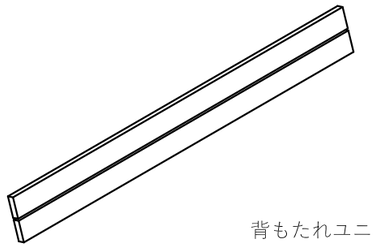
施工説明書・取扱説明書

このたびは、ファンダライン「メランダベンチ」をお買い上げくださいまして有難うございました。
下記の説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。また、ご使用前にこの説明書を必ずお読みの上、
正しくお使いください。

■施工上の注意事項

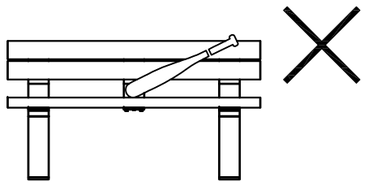
・2人以上で組立、設置を行ってください。
・ボルト類の締め付けは全て確実に行ってください。
・付属の部品以外は使用しないでください。
・設置後、ボルト類のゆるみやガタつきなどがないか点検してください。
・ベンチを設置する場所がコンクリートの場合、付属している芯棒打込み式アンカー（オールアンカー）にて固定することを推奨します。


座面ユニットD


背もたれユニットD

■使用上の注意事項

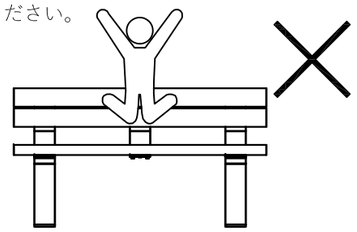
・ベンチの上に重量物を落としたり、堅いもので叩いたりすると、
表層材の割れ、へこみ、キズの原因となります。



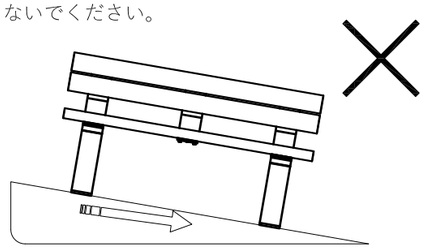
・ベンチ本来の目的以外の用途で使用しないでください。
・同色の製品間で若干のばらつきがありますので、予めご了承ください。
・ベンチを火気使用箇所に設置しないでください。また、火のついたタバコを置いたり、近づけたりしないでください。
・ベンチを保管する場合は、平らな屋内で保管をしてください。
・雨シミができることがありますが、製品に含まれる木粉中の成分に雨水が溶出してできるもののため、有害ではありません。
・座面、背もたれに傷、汚れが着いた場合は、＃60程度のサンドペーパーで削ることにより補修することができます。
なお、強く何度も擦ると基材部が出てきますので、削りすぎには注意してください。

■安全上の注意事項

・ベンチの上に登ったり、
飛び跳ねたりしないでください。

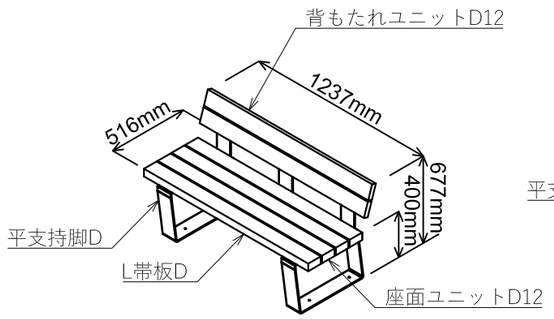


・傾斜や段差のある不安定な場所で
使用しないでください。

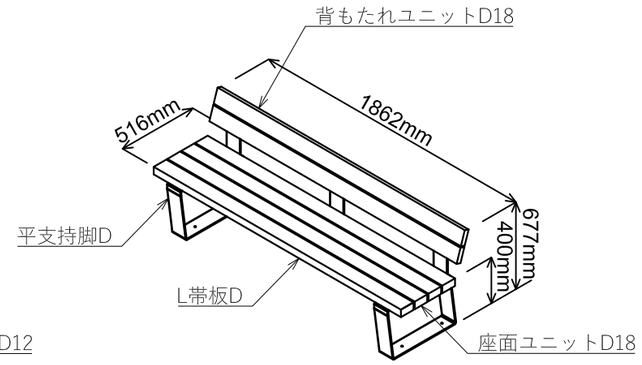


・隙間に手や足を入れないでください。
・人災、天災、地変、その他不可抗力による滑動や転倒によって生じるトラブルについては当社で責任を負うことができません。
・ベンチは芯棒打込み式アンカーで固定せずに使用することもできますが、風や地震等の外力でベンチが滑動、転倒する可能性が高くなり、そのことによって生じるトラブルについては当社で責任を負うことができません。
・強い振動、衝撃のあるところで使用しないでください。
・ベンチは夏期の直射日光下で表面が高温になる場合がありますのでご注意ください。

■姿図



メランダベンチ0512



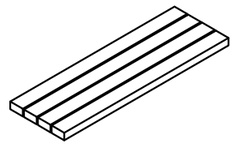
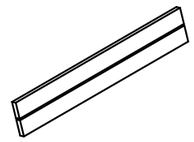
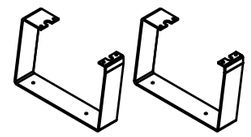
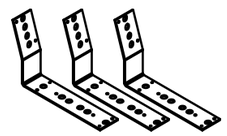
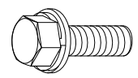
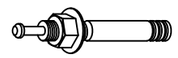
メランダベンチ0518

■部材一覧

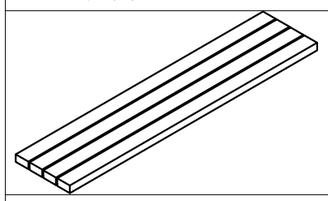
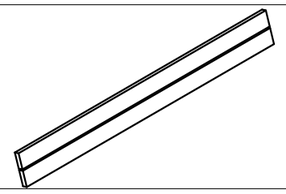
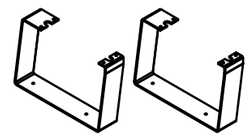
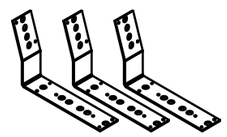
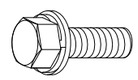
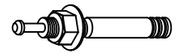
●開封時に種類と数量を確認してください。
（ボルト類の袋の内容も確認してください。）
●商品に異常がないか確認してください

ご準備いただくもの
●M8用レンチまたはスパナ
●スケール
●ハンマー（芯棒打込み式アンカー用）
●Φ8.5コンクリートドリル（芯棒打込み式アンカー用）
●集じん機、ブロワー（芯棒打込み式アンカー用）

■梱包内容（メランダベンチ0512）

座面ユニットD12	背もたれユニットD12	平支持脚D×2（2梱包）
		
L帯板D×3（1梱包）	金具セット	
	 六角ボルト トリーマ×16個	 芯棒打込み式アンカー×4個

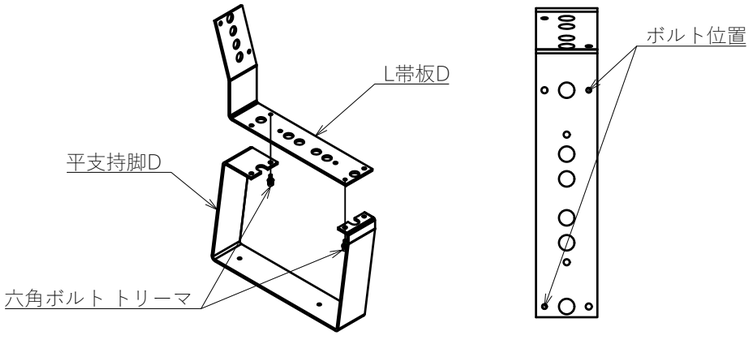
■梱包内容（メランダベンチ0518）

座面ユニットD18	背もたれユニットD18	平支持脚D×2（2梱包）
		
L帯板D×3（1梱包）	金具セット	
	 六角ボルト トリーマ×16個	 芯棒打込み式アンカー×4個

■施工手順

手順1 支持脚組立

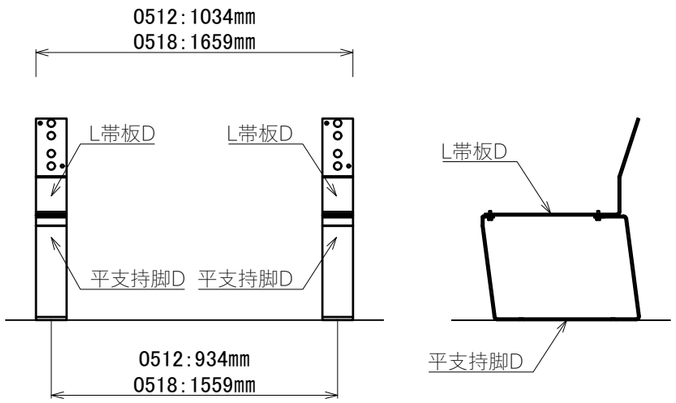
●平支持脚DとL帯板Dを重ね合わせ、下側から六角ボルト トリーマで固定し
　連結してください。
※ボルトの位置を間違えると手順3の座面ユニットが取り付けられなくなります。
※ボルトはレンチまたはスパナでしっかり締め付けてください。



L帯板Dを真上から見た図

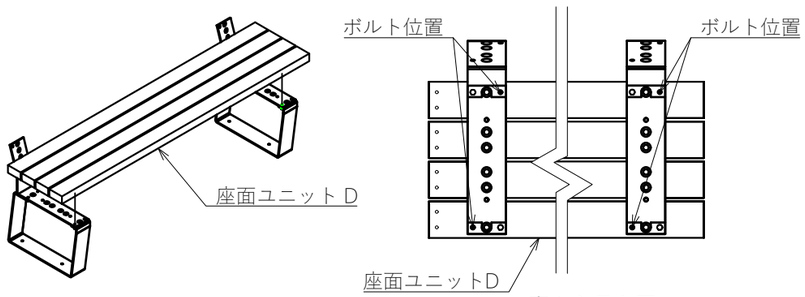
手順2 支持脚を配置

●手順１で組み立てた支持脚を下記の位置に仮置きしてください。
　既定通り置くことにより座面ユニットの設置が簡易になります。
●支持脚の下にごみや砂などが入らないように気を付けてください。



手順3 座面ユニット設置

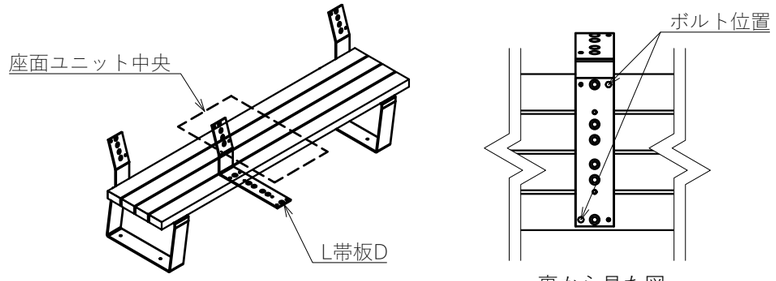
●支持脚からボルトが出ていますので、座面ユニットDの裏面の穴に合わせて
　座面ユニットDを支持脚に設置してください。
●六角ボルト トリーマで支持脚と座面ユニットDを固定してください。
※ボルトはレンチまたはスパナでしっかり締め付けてください。



裏から見た図

手順4 L帯板設置

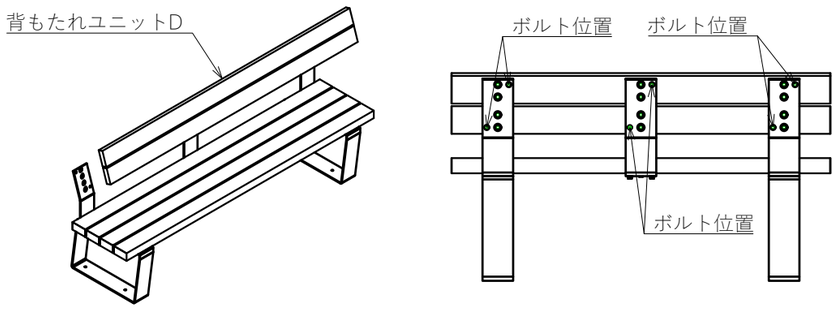
●座面ユニット中央の抑え金具に合わせて、L帯板Dを下側から設置してください。
●下図の位置を六角ボルト トリーマで固定してください。
※ボルトはレンチまたはスパナでしっかり締め付けてください。



裏から見た図

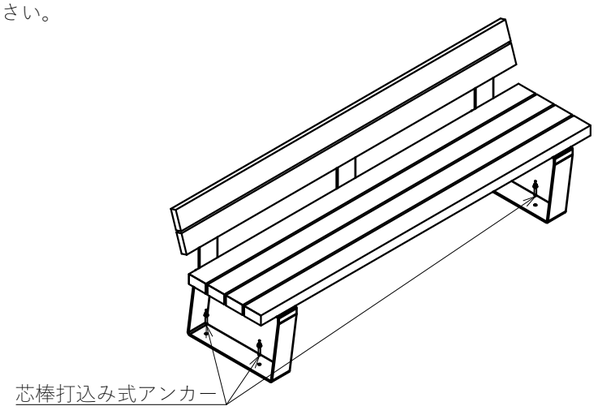
手順5 背もたれユニット設置

●背もたれユニットDの裏面のボルト頭部をL帯板Dの穴の位置に合わせて
　背もたれユニットを支持脚に設置してください。
●六角ボルト トリーマで支持脚と背もたれユニットDを固定してください。
※ボルトはレンチまたはスパナでしっかり締め付けてください。



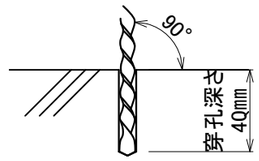
手順6 芯棒打込みアンカー設置

●支持脚底面に空いている穴の位置に芯棒打込み式アンカーを設置してください。
※芯棒打込み式アンカー施工時にベンチに傷をつけないよう、注意して施工を
　行ってください。



手順6-1 穿孔

●芯棒打込み式アンカーを設置する位置をマーキングし、ベンチをどかした後に
　Φ8.5のドリルを使用してコンクリートを深さ40㎜で穿孔してください。
　※付属している芯棒打込み式アンカーはコンクリートに40㎜埋込む必要があります。



手順6-2 孔内清掃

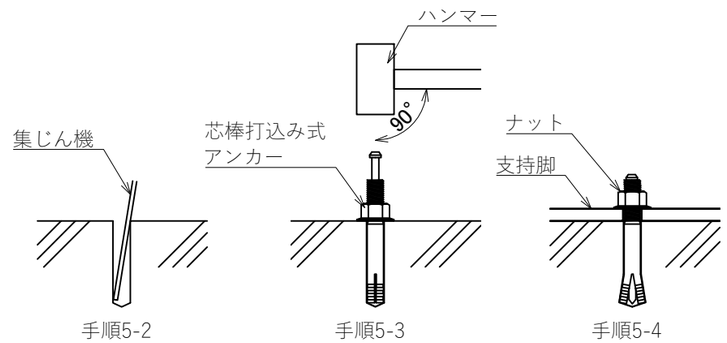
●集じん機やブロワーなどを使用して孔内の切粉を除去してください。

手順6-3 打設

●ナットを締めた状態で芯棒打込み式アンカーを奥まで設置し、ハンマー等で
　アンカーを打設しナットを外してください。

手順6-4 取り付け

●ベンチを設置し芯棒打込み式アンカーのナットを締め取り付けてください。



手順7 ナット等ゆるみ確認

●設置したボルト、芯棒打込み式アンカーに緩みがないか、再度確認してください。
※ボルト、芯棒打込み式アンカーが緩んでいると、ケガやベンチの破損などに
　つながる場合があります。

●お問合せ

フクビ化学工業株式会社
事業開発本部　まちづくり事業推進室
〒140-8516
東京都品川区大井1丁目23番3号
TEL :03-5742-6321
MAIL:gksgs@fukuvi.co.jp